

## 第 25 回日韓国際シンポジウムの日程および報告者募集のお知らせ

以下のとおり、第 25 回日韓国際シンポジウムを開催いたします。会員の皆様の参加を期待します。なお、報告を希望される方は、下記の要領にしたがってお申し込みください。

1) 日 程：2019 年 8 月 24 日（土）

2) 場 所：漢陽大学（韓国・ソウル市）

3) テーマ：より良い未来のためのメディアの公共性 – 環境報道、多文化化、メディア・ジャーナリズム倫理

4) 趣 旨

グローバル化とともにデジタル技術による融合・複合化の動向もメディア界に激しい競争をもたらしている。未曾有の影響は、社会、政治、文化など諸側面に及んでおり、メディアおよびジャーナリズムの概念や役割に関する根本的価値までを揺るがしている。

しかし、こうした変化、すなわちメディアの商業化や産業的な競争および再編の動きにもかかわらず、メディア・ジャーナリズムに与えられてきた社会的公共資源という公共性の本質、その核心的な価値は急激な変化の中でこそ、より重要視されるべきである。

こうした認識の下、日本マスコミュニケーション学会と韓国言論学会が共同主催する本国際シンポジウムでは、メディア界における急激な変化の流れの中で歪められている社会問題や現実を批判的に分析することによって、メディアの公共性を再認識することを目的としたい。メインテーマを「より良い未来のためのメディアの公共性」とし、具体的には、近年ますますその重要性が高まっている「環境問題」、「社会の多文化化」、そして「メディア・ジャーナリズムの倫理」について取り上げることで、改めて「メディアの公共性」を議論する場を提案する。

また、今回のシンポジウムでは、両学会間の学術交流をより活性化するために、上記のテーマセッションとは別に自由テーマの「一般セッション」を設けることとする。

シンポジウムの構成は以下の通り。

### 【メインテーマセッション】

「より良い未来のためのメディア公共性：環境報道、社会の多文化化、メディア・ジャーナリズム倫理」に関する研究の発表

### 【一般セッション】

両学会の会員による自由テーマの研究発表

5) 報告者の募集

「テーマセッション」及び「一般セッション」での報告を希望される会員は、報告タイトルと要旨 1000 字程度を国際担当理事・黄盛彬まで電子メールでお送りください。

email: [seongbin@rikkyo.ac.jp](mailto:seongbin@rikkyo.ac.jp) 締切日 5 月 4 日（土）

なお、報告を申し込まれる方は、申込締め切り日までに 2019 年度分までの会費を納入済みであること。また、採否については 5 月中旬までにご連絡します。

報告者に内定した方には **7月20日(土)**までに報告原稿（日本語、A4用紙=40字 x40行=8枚程度、英文サマリーA4用紙1枚）を提出していただきます。

(2019年度日韓国際シンポジウム実行委員会)